



青年団「新・冒険王」(2015年)©igaki photo studio

舞台芸術って
面白い!

ゼロから学ぶ パフォーミング・アーツ入門

Kinosaki Art Summer School 2015

城崎芸術夏季大学2015

城崎国際アートセンター(KIAC)は、演劇やダンスなどのパフォーミング・アーツのための滞在型創作施設(アーティスト・イン・レジデンス)として、2014年4月の開館以来、多くのアーティストが滞在制作を行い、公演やワークショップなど、様々なプログラムを実施してきました。

しかし、演劇やダンスと一口に言っても、その内容はとても多様で、一体どのように観たり、参加すれば良いのでしょうか?

KIACでは、そんな演劇やダンスについての基礎的な知識を知ること、アーティストや作品をより身近に感じ、楽しんでもいただくためのレクチャーシリーズとして、「城崎芸術夏季大学2015 ゼロから学ぶパフォーミング・アーツ入門」を開催します。関心はあるけれど何から観て良いかわからない方、最近、学校の授業等で触れることになった生徒や先生、文化行政に携わる方など、興味のある方なら、どなたでもご参加いただけます。

楽しくて奥深いパフォーミング・アーツの世界に触れることで、豊かな芸術世界への扉を開いてみてください。

KIAC



ダニエル・レヴェイエ 滞在制作 成果発表会「Solitudes」(2015年)
©igaki photo studio



城崎国際アートセンター コミュニティダンス・レジデンス・プログラム2015
「CROSSROADS 交差点」(2015年)
©igaki photo studio

● 演劇編

レクチャー1

光速・日本近代演劇史

明治時代に輸入された西洋演劇の影響を大きく受けて発展した日本の近代演劇。90年代に、「現代口語演劇」を提唱し、その流れに大きな影響を与えた劇作家・演出家の平田オリザ氏が、1世紀に渡る日本近代演劇の流れを光速で振り返ります。

日時:8月24日(月)19:00～ 講師:平田オリザ

レクチャー2

現代演劇この10年、そして城の崎にて

日本の演劇シーンに大きな影響を与えた、平田オリザと青年団。その登場以降、何が変わり、そして今何が起きているのでしょうか?『演劇最強論』の共著者で、編集者・批評家の藤原ちから氏が、この10年間で登場した様々な手法の最新の演劇作品を映像等で紹介すると共に、これからの演劇の行方を探ります。

日時:8月28日(金)19:00～ 講師:藤原ちから

● ダンス編

レクチャー3

こんなものでダンスなの!? 秘蔵映像と最新情報で語る コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド @城崎スペシャル!

いま非常に面白いコンテンポラリー・ダンスの世界。しかしあまりにも多様すぎて、何をどうみているのか分からない、という声も聞きます。世界中を飛び回り、最先端のダンスをつぶさに見て、名著『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイド』の著者でもある乗越たかお氏が、秘蔵映像・最新映像を駆使して、意外なダンスの魅力を語ります。

日時:9月18日(金)19:00～ 講師:乗越たかお

講師プロフィール



©青木司

平田 オリザ

Oriza Hirata

1962年東京都生まれ。劇作家、演出家。劇団「青年団」主宰、こまばアゴラ劇場芸術総監督、城崎国際アートセンター芸術監督。東京藝術大学COI研究推進機構 特任教授、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター客員教授、四国学院大学客員教授、学長特別補佐。

1982年に劇団「青年団」結成。「現代口語演劇理論」を提唱し、1990年代以降の演劇に大きな影響を与える。1995年『東京ノート』で第39回岸田田土戯曲賞受賞。2003年日韓合同公演『その河をこえて、五月』で、第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。2006年モンブラン国際文化賞受賞。2011年フランス国文化省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。近年はフランスを中心に各国との国際共同製作作品を多数上演している。



藤原 ちから

Chikara Fujiwara

1977年高知市生まれ、横浜在住。編集者、批評家、フリーランサー。BricolaQ主宰。12歳で単身上京し、東京で一人暮らしを始める。以後転々とし、出版社勤務の後、フリーに。武蔵野美術大学広報誌「mauleaf」、世田谷パブリックシアター「キャロマガ」などの編集を担当。現在は演劇批評を中心に様々な記事を執筆。辻本力との共編著に『〈建築〉としてのブックガイド』(明月堂書店)。徳永京子との共著に『演劇最強論』(飛鳥新社)。演劇センターF創設メンバー。遊歩型ツアープロジェクト『演劇クエスト』を各地で創作中(城崎でも制作予定)。http://bricolaq.com



乗越 たかお

Takao Norikoshi

作家・ヤサぐれ舞踊評論家。株式会社ジャパン・ダンス・プラグ代表。06年にNYジャパン・ソサエティの招聘で滞米研究。07年イタリア『ジャポネ・ダンツァ』の日本側ディレクター。世界のフェスティバルを巡り、日本各地へ出かけ、最先端のダンスを探り、つなぐ。『コンテンポラリー・ダンス徹底ガイドHYPER』(作品社)、『どうせダンスなんか観ないんだろ!? 激録コンテンポラリー・ダンス』(NTT出版)、『ダンス・バイブル』(河出書房新社)他著書多数。

会場/ 城崎国際アートセンター 参加費/ 無料

対象/ 演劇やダンス等のパフォーミング・アーツについて知りたい方、関心のある方ならどなたでも、ご参加いただけます。＊一時保育の申込みは、各回の1週間前までに城崎国際アートセンターへ

申込方法

▶お電話の場合/ 0796-32-3888

上記電話番号まで、ご連絡ください。

○受付 9:00～17:00 ○休館日 毎週火曜

▶メールの場合/ info@kiac.jp

件名を「城崎芸術夏季大学申込み」として、本文に

①お名前、②人数、③参加を希望する回、

④お電話番号を明記の上、メールしてください。

申込み・問合せ先 城崎国際アートセンター

TEL:0796-32-3888(受付9:00～17:00 火曜休館)

e-mail:info@kiac.jp http://kiac.jp



城崎国際アートセンター
KINOSAKI INTERNATIONAL ARTS CENTER

主催:豊岡市、城崎国際アートセンター、NPO法人プラッツ
助成:一般財団法人 地域創造